

2020年1月20日  
国際機関日本アセアンセンター

## 日本アセアンセンターによる ASEAN 地域におけるグローバル・バリュー・チェーンの 活用についての研究を ASEAN 諸国の政策策定者も注目： 藤田事務総長がハイレベル・シンポジウムで政策提言の要旨を披露



ベトナム(ハノイ)で実施された ASEAN 域内貿易・投資に係るハイレベル・シンポジウムに参加する藤田・日本アセアンセンター事務総長(右から3番目)。左隣は、Le Thi Hai Van ベトナム社会主義共和国 計画投資省 外国投資庁 副長官。

国際機関日本アセアンセンター(所在地：東京都港区、事務総長：藤田正孝)は、2020年1月10日にベトナムの首都ハノイで開催された ASEAN 域内貿易・投資に係るハイレベル・シンポジウム「結束力且つ対応力のある ASEAN 共同体に向けた域内貿易・投資の強化」に登壇者として招待され、ASEAN<sup>1</sup>の域内貿易・投資の現況について、グローバル・バリュー・チェーン(GVC)という観点から、センターが実施してきた ASEAN における GVC の活用についての研究成果の要旨を中心に、提言を行いました。

本シンポジウムは、ベトナムの2020年の ASEAN 議長国への就任直後に実施した ASEAN 2020 公式イベントの一つであり、ベトナム外務省が同国産業貿易省並びに計画投資省と連携して開催しました。また、本シンポジウムは、ASEAN 諸国の現職並びに元閣僚、ASEAN 全10か国の高級経済実務者会合(SEOM)参加者、ASEAN 事務局やその他国際機関等から専門家や参加者約120名を迎え、議論された内容を2020年実施の SEOM や ASEAN 経済大臣会合(AEM)に報告し、更なる検討を促がすための提言を出すことを目的に、開催されました。他の地域協力体と比べた

<sup>1</sup> ASEAN(東南アジア諸国連合)とは、1967年に結成された地域協力機構。加盟10カ国(ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)の総人口は6億5千万人を超える。

場合に、ASEAN 域内の貿易・投資は割合が小さく拡大の余地があること、また、ASEAN における域内貿易・投資の強化は ASEAN の優先事項や、結束力かつ対応力のある ASEAN 共同体の実現に寄与することを念頭に、本シンポジウムでは、「制度的・政策的な障害」、「GVCs における高付加価値への移行」及び「滑らかな物流」の 3 つの課題テーマについて議論されました。

藤田事務総長は、「ASEAN の GVC への更なる参加と発展」と題するパネル・ディスカッションに登壇し、ASEAN における GVC の現況について全般的な説明を行った後、日本アセアンセンターによる ASEAN 地域における GVC についての研究成果に言及しつつ、ASEAN が如何にして GVC への参加を深め、発展していけるか、付加価値貿易のデータを基に洞察を提示しました。藤田事務総長は GVC への参加と一人当たり GVC 成長率はおおよそ比例関係にあり、ある国が GVC への参加を深めるほど、同国の一人当たり GDP 成長率も向上する傾向にあることをふまえ、ASEAN 諸国も GVC に更に参加することが重要であると訴えました。また、GVC への参加と外国直接投資 (FDI) 額にも相関関係があり、ある国が対内 FDI 額を増やすほど、GVC への参加も増える傾向が認められていることについて説明し、ASEAN 諸国に対し、FDI を呼び込むための方策の強化と改善を呼びかけました。

さらに、上記をふまえ、藤田事務総長は ASEAN 諸国が GVC に参加し、GVC から恩恵を受け、地域の更なる経済発展のために必要となる政策のポイントを 「(1) GVC を開発戦略全体及び産業開発政策に組み込むこと；(2) 促進的な貿易・投資環境を維持し、基礎構造条件を整備することにより、GVC の成長を可能にすること；(3) 現地企業の生産力を拡張すること；(4) GVC への参加に伴うリスクを軽減すること（環境上、社会上、またガバナンスの観点からの強固な枠組みが必要）；及び(5) 貿易と投資の二つの政策分野及び関係機関における相乗効果を特定し、同二分野についての政策調整をはかること」の 5 つにまとめて提言しました。

ハイレベル・シンポジウムへの参加にあたり、藤田事務総長は、ASEAN の政策策定者が、日本アセアンセンターの ASEAN 諸国の GVC に関する研究を認め、深い関心を寄せて下さっていることに深く感謝するとともに、ASEAN 経済共同体 (AEC) ブループリントの達成に向けて邁進する ASEAN にとって、GVC は重要な戦略的選択であるため、センターによる提言が、ASEAN の GVC への更なる参加と発展に寄与することを期待していると発言しました。

- 日本アセアンセンター発行「ASEAN における GVC の活用についての調査論文」：  
<https://www.asean.or.jp/ja/centre-wide/centrewide/>

#### <<国際機関日本アセアンセンター>>

正式名称：東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター

ASEAN10 カ国政府と日本政府により 1981 年に設立。

貿易・投資・観光・人物交流の 4 分野を中心に、ASEAN 商品の輸出促進、日系企業の進出支援、人材育成、日 ASEAN 間の観光促進等を通して、日本と ASEAN 諸国との関係促進に貢献する国際機関です。

URL：<https://www.asean.or.jp/ja/>

#### <<本リリースについてのお問合せ>>

国際機関日本アセアンセンター 事務総長室 (広報)

東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1F

電話：03-5402-8118 Fax：03-5402-8003

e-mail：[toiawase\\_ga@asean.or.jp](mailto:toiawase_ga@asean.or.jp)